

議員定数に関する意見交換会報告書

開催日時	令和7年7月12日（土）午前10時から11時30分まで
開催場所	舞鶴市役所本館4階 議員協議会室
参加者	下記の団体から推薦いただいた7人（予定は8人で1人が欠席） 舞鶴自治連・区長連協議会、舞鶴市老人クラブ連合会、 舞鶴商工会議所、舞鶴商工会議所青年部、ほくと鵬信会、 西舞鶴高等学校、舞鶴工業高等専門学校
出席議員	議長 肝付隆治 副議長 野瀬貴則 自民党鶴政クラブ議員団 上野修身、尾関善之、水嶋一明 新政クラブ議員団 田畑篤子、眞下弘明、山本治兵衛 超党・市民ファースト議員団 高橋秀策、廣瀬昇 公明党議員団 上羽和幸、杉島久敏 日本共産党議員団 小杉悦子、小西洋一

【次第】（進行：副議長）

- 1 開会挨拶（議長）
- 2 舞鶴市議会の現状等の説明（議長）
- 3 各会派の考えの説明（各会派代表者）
- 4 参加者の御意見等の発言（参加者全員）
- 5 質疑応答等による意見交換
- 6 閉会挨拶（議長）

【各会派の考え（理由等は別紙参照）】

会 派 名	議員定数に関する考え
自民党鶴政クラブ議員団	現状維持（25人が適正）
新政クラブ議員団	1人削減（24人が適正）
超党・市民ファースト議員団	3人削減（22人が適正）
公明党議員団	未定（現状維持もしくは削減）
日本共産党議員団	現状維持（25人が適正）

【参加者からの御意見】

- 人口減少に伴って、議員定数も削減していくイメージが思い浮かんでいる。
また、人口は減少しているが、報酬は変わっておらず、市の財政面への影響もあるのではないかと感じる。このことも、定数に響いてくるのではないかと考える。
- 各会派の考えを聞いたが、常任委員会の数と必要な人数の話などが、保身的な印象を受けた。
市民の意見を広く聞く意味合いから定数がなかなか変えられないということであったが、同じ地域に複数の議員がいるのではなく、満遍なく各地に議員がいることが理想ではないかと思う。
可能かどうかは別として、例えば、中学校区で、この校区は何人というふうにしていき、最終的には、20人くらいにする必要があるのではないかと思う。
常任委員会についても、5人で4委員会というだけでなく、今とは違うやり方ができるのではないかと考える。

- 議員定数について意見を求められると、私も含めて、減らす方向の意見が多数ではないかと思うが、闇雲に減らせばいいということではないものの、人口減少に歯止めがかからない現状を踏まえれば、いずれにしても減らしていくようになろうかと思う。
令和3年にも定数を減らされているが、その場その場でやるよりも、先を見越して、人口何人程度までは現状維持、それ以下まで減れば定数を減らすというようなことを決めるのも一つかと思う。
人口や面積がどれくらいに対して何人が適正かということは分からないが、議員の職務の内容や方法なども含めて、その時代に応じたような形で変更していてもいいと思う。
舞鶴から出ていく人もあれば、移り住んで来られる人もあることを考えれば、各地域を代表するというよりも、舞鶴市全体の代表として、その中で地域を区割りして活動することも考えられる。定数が減れば担当地域は広がるが、何かしらの方策を考えて、時代にあった活動を検討してもいいのではないかと思う。
- 議員定数について、市民の皆さんは、たぶん減らしたほうがいいと思われていると考えている。
舞鶴市は面積が広く、人口だけで比較できないと言われると思うが、そのこと自体が、どの地域の代表とか、この校区の代表というような昔ながらの考え方が前提になった発言ではないかと思う。西舞鶴に住んでいる議員が、西舞鶴のことだけしておけばよいということではないので、そうした概念は捨てるべきだと思う。そうすれば、市域が広くても、定数を減らしてはいけないという考えには直結しないと思う。
3年前に定数が1人減ったが、それから現在まで、人口が3千人から4千人減っていることを鑑みれば、議員定数をそのまま残すのは、理屈に合わない。残すなら報酬を減らすなどの策をとったほうがいいと思う。
- 全国市議会議長会の資料によると、舞鶴市と同等の人口規模の市における議員定数の平均は、20.54人となっている。あくまでも平均であって、地域の特殊性などは無視したものであるが、全ての市に特殊性があって、広い狭いは関係なく、1人1人の意見を聞くのは本当に難しいことだと思っている。
議会運営を適正な形で行うために、この人数が必要ということは一旦置いておいて、市民の声を聞くにしても、昔とテクノロジーが全く違い、話を聞く方法は、たくさんある。組織の改革を期待する。
議員の活動時間から時間給を計算すると、2,700円で、議員が2,700円しかもらえないんだと思うと、あまり魅力がないので、もっとたくさん議員報酬があっても問題ないと思うことから、その分、定数を減らして、濃い活動をしていただくことを期待する。
- 配付された資料を見ただけで、議員の活動状況等が十分に分かっているわけではないが、25人は少し多いのではないかと思う。類似団体との比較を見ても多く、議員の皆さんが、どのような仕事をしていて、どれくらいの時間、どのような内容の活動をしているか分からないので、なぜ他の市よりも多いのかという疑問がある。
議員の活動内容等が若い世代に伝わるように、SNSの活用なども含めて考えていただければ、興味を持つようになると思うので、ぜひお願いしたい。
- 常任委員会の人数をもう一度検討してから全体の人数を検討していただきたいと思う。現在、4つの委員会に6人ずつが所属していて、6人では足りないという意見もあったが、単純に4つを2つにすれば、倍の人数で審査できる。1つの委員会を10人にすれば、定数は、議長を含めて21人になる。1つの委員会の負担は分からないが、6人が少ないのであれば、再編することによって、

結果的には、定数が減らせるのではないかと思います。

【意見交換の概要】

- ☐ 議員報酬については、44万円×12ヶ月に加えて、ボーナスのようなものがあるのか。〔参加者〕
- ◇ 年2回の期末手当があり、合計で約174万円が支給される。〔野瀬副議長〕
- ☐ 議員1人当たり年間約700万円ということになると思うので、1人減ると、その額の財源が確保できると考えると、財源がない中だと思うので、それも考慮してほしいと思う。〔参加者〕
- ☐ 議員定数が減ると、新しい人、若い人の参画に影響がでるのではないかという発言があったが、そうであれば、多選をやめるとか、定年制を設けるとか、選出方法を考えることもできるのではないかと思います。
単純に1人減で700万円ほどの支出が減ることであれば、そのうちの一部を他の議員の報酬に充てるなど、報酬を増やす形も考え、その上で、議員活動の内容を一步前へ進めていただくようなことも考えられるのではないかと。〔参加者〕
- ◇ 議員報酬については、会派の中で議論しているところであり、明確に言えないところではあるが、定数を減らして報酬を上げるという考え方もあると思うし、単純に定数を減らせば、財政面から有意義であるという意見もそのとおりではあると思うため、そうしたことも含めて検討していきたいと思う。
一方で、各会派の考え方の説明の中で、地方交付税の話があったと思うが、地方公共団体に議会を置くということは、憲法で要請されていることであり、国が必要な財源を措置する意味で、地方交付税の算定根拠にもなっていることから、そうした点も踏まえながら検討していきたい。〔山本議員〕
- ◇ 新しい人によって変わっていくことが一番大事ということは、世間的にもよく言われることである。それがなかなかできない理由として、各政党から出てこられる人もたくさんいらっしゃるって、政党の中では、ある程度、定年制があったり、交代していくということはあるものの、一方で、個別に見ると、被選挙権という権利に基づいて立候補されるので、それを抑制するということは、法律に触れたり、人権に反することになるため、制約を設けるのは難しいというのが現状である。そうしたことから、どう変わっていくかということは、それぞれの方々が、自身で考えていかなければならないというのが今のところの考え方である。〔上羽議員〕
- ☐ 活動の見える化に関する調査結果の資料の中にある市の職員の勤務時間は、平均的なものか、残業等も含めたものなのか。〔参加者〕
- ◇ 職員の勤務時間は、7時間45分と決められており、時間外勤務の時間数を含んでいない数字を記載している。時間外勤務は、1人1ヶ月当たり平均で12時間から13時間という状況。〔議会事務局〕
- ☐ 働き方改革を進めていかなければならない中で、減らさなければならないが、民間企業の人たちは、もっと働いている。議員は、市の職員と比べたら同じくらい働いているように見えるが、民間の人に比べたら働いていないというように思っている。活動時間が見えるようにまとめられた資料だとは思いますが、あまり働いていないという印象を持っているので、それならもうちょっと1人が頑張れば、定数が減らせるのではないかと考えた。〔参加者〕
- ☐ 各会派の考え方の説明の中で、現在4つの常任委員会を3つにして、委員の数を7人にするという発言があったと思うが、どのように再編するのか、具体

的な案があれば聞きたい。〔参加者〕

- ◇ 例えば、総務教育委員会、産業建設消防委員会、市民福祉健康委員会というように、同じような課題を中心に分けることが考えられる。有識者からは、6人から8人で議論するのが適当との見解も示されており、議長を除いて7人の委員で3委員会とすれば、議員定数は22人となる。委員会の進行役となる委員長を除いても6人で議論することができ、適当であると考え。今よりも定数を減らすのであれば、常任委員会は3つにすべきであると考えており、他市では2委員会のところもあるため、支障もないと考える。〔高橋議員〕

- 議員のなり手の話として、年間約700万円の報酬で足りているのかどうか、また、兼業されている人もいると思うが、兼業でできるのかどうか、実際のところを聞きたい。〔参加者〕

- ◇ 長く議員をしている中で、いろんな兼業をされている人を見てきたが、自身で事業をされており、相対的には、兼業となれば、元の事業は、少し下降ぎみになる印象がある。

700万円というとい多いように思われるかもしれないが、議員には、年金も退職金もなく、4年後には選挙があるため、その費用も必要となる。子供2人を大学に行かせようと思うと、議員報酬だけでは難しいというのが現状ではないかと思う。〔高橋議員〕

- ◇ 私は30代で仕事を辞めて議員になり、4人の子供がいる中で、社会保障費を払うと、やはり生活は大変厳しく、アルバイトをしながら議員をしていた。アルバイトの量を増やすと、議員活動に不安が生じるため、どうしても制限するので、収入が少ない中での活動に苦労した。子供が手を離れると、それなりに楽になってきていると感じる。自身の経験から、苦しい活動の仕方は良くないと思っているため、しっかり活動ができる報酬や環境を整えていきたいと考えている。〔上羽議員〕

- 私も、一般的に議員の中には兼業されている人が多いというイメージがあるが、本来は、議員報酬だけでやっていけるようにならないと、議員活動が円滑にできないのではないかと思う。生活維持のために時間を割く必要があれば、市民との対話なども限られた時間しかできないことになるため、単純に高い安いというよりも、実際にどのような報酬になると議員としての活動がしっかりできるのかということも、定数と並行して検討していただきたい。〔参加者〕

- 議員は、男性が多く女性が少ないという意見もあるが、女性として、議員の魅力をどのように感じておられるかを聞きたい。〔参加者〕

- ◇ 議員報酬に関しては、兼業でなければ国民健康保険で引かれるので、結局報酬としては高いとは思わない。

女性としてという意味では、議員になって分かったことであるが、男性の視点と女性の視点は全然違う。市全体の予算の中では、民生費が大きな割合を占めており、医療、保険、介護など、広い範囲で多くの事業があるが、それらに関する条例改正や、新たな事業の立ち上げなどが提案された際に、女性の視点が大きいと改めて感じている。そういう意味で役に立てると思っており、女性議員がもっと増えて発言できれば、舞鶴市が変わるのではないかと思う。〔田畑議員〕

- 女性議員を増やすためにどうすればいいかも、この機会に十分考えていただきたい。〔参加者〕

- 定数が全国平均と比べて同じくらいだからよいとは思わないし、それよりも多いほうがよいのか、少ないほうがよいのかは分からないが、単純に全国平均

よりも4人多いというのは異様に感じる。委員会を4つから3つや2つにするなど、会議体を変えていけば、定数も変えられるのではないかと思った。〔参加者〕

□ 人口だけではなく、面積も加味する必要があるという話があったが、舞鶴市の面積は、福知山市の半分ほどで、議員定数は、福知山のほうが1人少ないということを考えれば、20人でも十分可能なのではないかという印象がある。校區別にすると、どのように選出するのかという問題もあるが、本気でやる気であれば、方法は、いろいろと知恵を出し合って考えられると思うので、20人に近づけるような方向で検討してほしい。〔参加者〕

◇ 校區別に考えるという御提案をいただいているが、かつて私もそういうことを考えたことがあり、そうすると、おそらく小選挙区の選挙になってくると思う。校区のブロックごとに定数を定めるというのも、良い考えの1つだと考えていたこともあるが、議員の中には、難しく考えている人もいるのではないかと思うので、幅広く御意見をお聞かせいただきながら検討していきたい。〔山本議員〕

□ 人口減少という課題が1番にあって、それに対して、議員定数がどうかということになっているが、後ろ向きなことばかりではなく、1人でも2人でも人口を増やしていくということが大事ではないか。2つの会派から、議員定数は現状維持という考えが述べられたが、現状維持とするならば、期限を切って、人口減少対策をやりますというくらいの気概をもって取り組んでいただければと思います。それであれば、議員定数も現状維持で構わないと思うが、人口減少が止まらなければ、やはり議員定数は減っていくということになると思う。〔参加者〕

【今後の予定】

本日の御意見も踏まえて議員間での議論を重ね、令和7年11月には、議会としての考え（結論）を取りまとめる予定。